

足立区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『葵の御威光』</p> <p>足立区には、徳川家ゆかりの古刹や名所、旧蹟があり「葵」の御門が煌いています。江戸時代初めには、全域が徳川家直轄領で、その後、徳川家霊廟の領地「御神領（ごしんりょう）」ともなり、全域が徳川家にゆかりのある土地として明治に至りました。徳川家の領地として歩んだ、江戸時代の歴史資料と伝説を紹介しています。</p>	800円
	<p>『写真で見るあだちの歩み』</p> <p>足立区は、昭和7年に東京市の拡大によって誕生し、ひとつの「区」として発展してきました。特に昭和30年代から高度経済成長期に入ると、学校・住宅・上下水道など社会的基盤の整備が進み、区内にもさまざまな施設が急激に誕生し、暮らしを支援する文化事業も盛んに行われました。こうした足立区の姿を、昭和30～50年代を中心に、記録写真によって紹介します。</p>	700円
	<p>『東京東部のおもちゃづくり』</p> <p>昭和の時代、玩具は東京東部の特産物でした。ブリキ・セルロイド・塩化ビニールなどで作られた子供たちのお宝が、国内はもとより世界中に広がりました。玩具産業の歴史を追うことは東京東部の地域性を物語り、その特徴が明らかとなる機会となれば幸いです。</p>	600円
	<p>『浪人たちのフロンティア 一村と町の開発と浪人由緒』</p> <p>足立区や東京都東部、埼玉県東部など、江戸時代武蔵国東部だった地域の旧家の多くには、元武士だったという話が伝わっており、その人々の名前はそのまま村の名前の由来にもなっています。浪人、元武士だったという経歴は、誇りとともに歴史として家々で記録類がまとめられ、自分たちの歴史書となりました。そのような村や町をつくった浪人たちの歴史資料や、浪人由緒をめぐる様々な資料を紹介します。</p>	800円